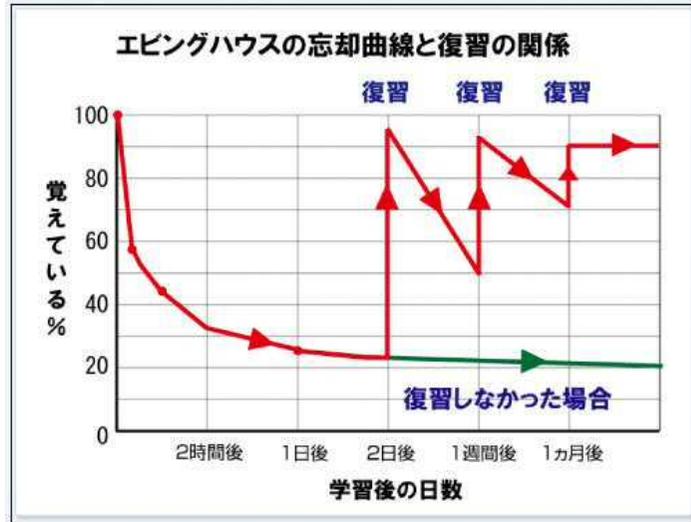


The Shinro Journal とは・・・松江東高校進路指導部が発刊する情報紙です。主に進路に関する情報提供や、各種行事や講座の案内・報告を行っていきます。

秋本番となってきました。何を行うにも良い季節です。もちろん勉強もです。先日実施した学習時間調査の結果から、家庭での学習時間の重要性を述べておきます。

私たちの脳は、その日に教わった事柄を復習しないとその内容の80%近くを忘れるようにできています。教わった瞬間は短期記憶にその内容を留めます。それを長期記憶の領域に収めるためにどうしても復習という作業が必要になるようです。また、次の日の授業への準備がしっかりしていると授業内容の理解は一層深まります。今一度、家庭での学習習慣を振り返ってみてください。短期記憶を長期記憶に保存する作業(復習)を習慣化してみよう!!



## 「点と点が繋がる時」

先日、35期卒業生の野津直人さんが学校を訪ねてきてくれました。野津さんは現在島根大学総合理工学部物理マテリアル学科に在籍し研究をしています。8月に念願叶いオックスフォード大学へ短期留学し、材料科学の最先端を学んで帰ってきたそうです。

いろんなお土産話を聞きました。専門分野の内容は高度すぎて私には理解不能でしたが、イギリスでは現金を扱う場面は日常にはないそうで、物を買うときはもちろんですがチップを渡す際もデジタル通貨だそうです。さらに、ラーメン1杯2500円、お茶を飲もうとカフェに入ると缶に入ったお茶が差し込まれ600円、昼食代だけで3000円を超える物価高のようです。また、街にはマスクを着用している人など見当たらず、「なぜ君はマスクをしているんだ？」と質問をされたようです。国が変われば文化も異なり、コロナ禍での生活様式も異なるようです。留学してみて、最先端の研究のみならず、文化など見識を広めることができたようです。

そんな野津さんですが、高校生のとき英語の授業で扱った教材の一節が今でも記憶に残っており、この留学を終えて改めて強烈に蘇ってきたようです。その教材は、Appleの創始者である故スティーブ・ジョブズ氏がスタンフォード大学の卒業式で行ったスピーチです。自らの生い立ちや闘病生活を折りませながらその人生観を余すところなく語り広く感動を集めたスピーチです。その中の一文を紹介しておきます。

Again, You can't connect the dots looking forward; you can only connect them looking backward. So you have to trust that the dots will somehow connect in your future. You have to trust in something—your gut, destiny, life, karma, whatever. This approach has never let me down, and it has made all the difference in my life.

(訳)繰り返しますが、将来をあらかじめ見据えて点と点をつなぎ合わせるなどできない。できるのは、後からつなぎ合わせるだけです。だから、我々は今やっていることがいずれ人生のどこかで実を結ぶだろうと信じるしかない。運命、カルマ、…、何にせよ我々は何かを信じないとやっていけないのです。私はこのやり方で後悔したことはありません。むしろ、今になって大きな差をもたらしてくれたと思います。

## 特別寄稿 35期卒業生 野津直人

こんにちは！私は、3年前に松江東高校を卒業し、現在島根大学に所属しております3回生の野津直人と申します。今回は、私の経験から、今後皆さんが進路を考えるうえで何かの手助けになればいいと思います。



少し自分の話をさせてください。大学では、材料科学について勉強しています。主に航空機に使われているエンジンや火力発電など高温に耐えられる材料の特性を研究しています。そして、今年の8月に念願のイギリスにあるオックスフォード大学に3週間の研修に行ってきました。

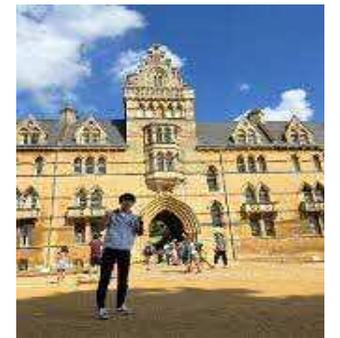
このような体験をしてきて、皆さんに2つメッセージがあります。それは、何も留学をしろというわけ



オックスフォード大学にて

ではなく、「いろいろなことに挑戦すべし」という事です。私は、高校2年生の2学期ぐらいまで将来何になりたいのか、何がしたいのか正直全然決まっていませんでした。そしてある日、担任の先生に、島根大学とオックスフォード大学、企業が集まったセミナーに参加してみないかと提案されました。その時はあまり興味もなく、しぶしぶそのセミナーに参加しました。しかし大学の教授や企業の方と話すことで材料科学を勉強

したい！そしていつかオックスフォードに行きたい！という気持ちになりました。またいきなりですが、私の好きな言葉で、スティーブ・ジョブズの「Connecting the dots(点と点をつなぐ)」という言葉があります。要約すると、「将来を予想して、点(知識や経験)と点をつなぐことはできないが、後々の人生で振り返った時だけ、点と点がつながることを実感できる。その為、今やっていること、挑戦しようと思っていることが将来、自分の役に立つ(点と点がつながる)と信じて取り組みなさい。」という主旨です。ジョブズの言葉と私の体験から、たとえその物事に興味がなくとも、もしかしたら私のように自身の転機につながるかもしれません。その為、皆さんには授業や学校の枠にとらわれず、いろいろなことに挑戦してほしいと思います。



2つ目に「人とのつながりを大切にし、たくさん頼るべし」という事で  
→ 裏面に続く

す。何かに挑戦し何かを成し遂げようと思った時、一人ではできないことの方が多いです。頼ることは恥ずかしい事ではなく、頼ったもん勝ちだと私は思います(若いうちは)。皆さんそれぞれ悩みがあると思います。文系理系どちらにすべきか、自分の将来したいことが分からない、模試の点数が上がらないなどなど。そういう時は、学校の先生に助けを求めてください！学校の先生方は進路指導のプロです。真摯に相談に乗ってもらえると思います。私も大変お世話になりました。1人で抱え込まずに、周りの人と話すことが、ストレスを和らげてくれたり、互いを刺激し合えるのかなと思います。

最後に、ここまで読んでいただきありがとうございました。勉強も大事ですが、今しかない高校生活もぜひ楽しんでください！今後も皆様の活躍を期待しています。

東高生のみなさんはこれから大切な選択があります。1年生は文理選択、2年生は科目選択、3年生は具体的な学校の選択です。信頼のおける情報を収集し選択をし、そして勇気を持って行動に移していきましょう。前述の野津さんの行動力を参考にしてみてください。

文責 藤原弘晃

